

平成29年毎月勤労統計特別調査結果の概要

1 賃金の動き

(1) きまって支給する現金給与額

平成29年7月におけるきまって支給する現金給与額は、調査産業計で前年比4.5%減の185,807円となった。これを男女別にみると、男性は2.5%減の255,936円、女性は2.7%減の139,495円となった。(表1、図1)

(2) 特別に支払われた現金給与額

平成28年8月1日から平成29年7月31日までの1年間に特別に支払われた現金給与額は、調査産業計で前年比14.1%減の211,461円となった。これを男女別にみると、男性は10.4%減の303,299円、女性は13.3%減の150,920円となった。

また、年間特別給与支給割合(7月の月間きまって支給する給与に対する年間の特別に支払われた給与の割合)は、調査産業計で1.14ヶ月分(前年1.27ヶ月分)となった。(表2、図2)

表1 産業、性別きまって支給する現金給与額

産業、男女別	規模1～4人事業所		
		対前年比	
	円	%	%
調査産業計	185,807	△ 4.5	(△ 0.8)
男	255,936	△ 2.5	(△ 5.3)
女	139,495	△ 2.7	(2.0)
建設業	266,275	10.8	(4.7)
製造業	191,545	13.0	(△ 16.6)
卸売業, 小売業	178,808	△ 6.8	(11.1)
宿泊業, 飲食サービス業	102,555	△ 15.9	(33.1)
生活関連サービス業, 娯楽業	133,795	△ 1.2	(3.1)

注) ()内は、平成28年調査の前年比の数値である。

図1 産業別、性別決まって支給する現金給与額

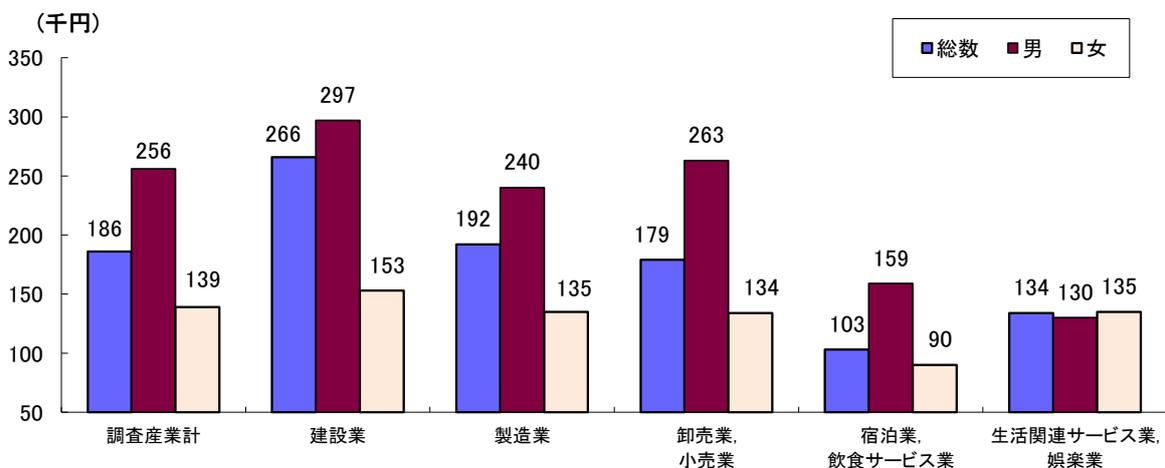


表2 産業、性別年間に特別に支払われた現金給与額

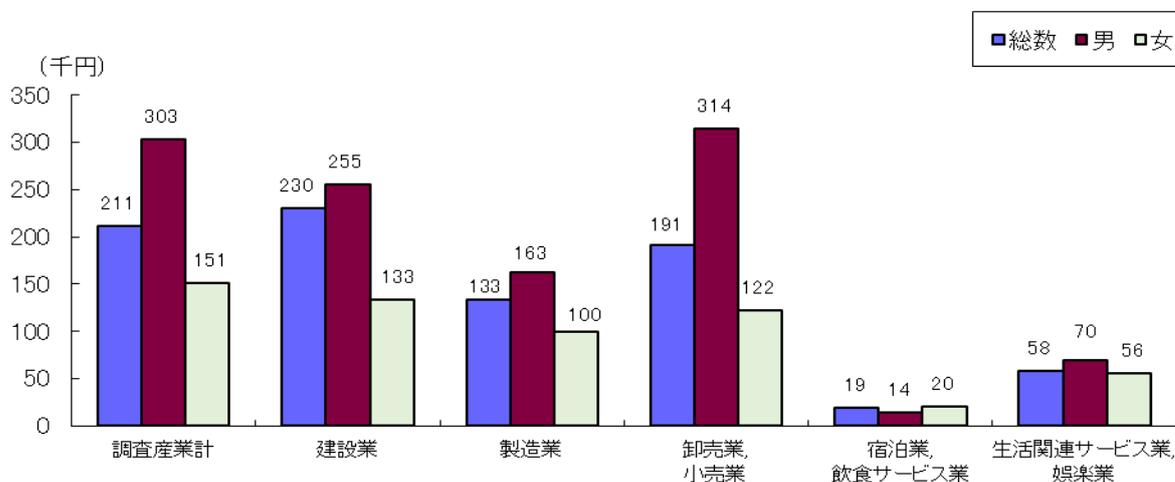
産業、男女別	実額	前年比		支給割合	前年差
		円	%		
調査産業計	211,461	△ 14.1	(△ 4.7)	1.14	△ 0.13
男	303,299	△ 10.4	(△ 4.5)	1.19	△ 0.10
女	150,920	△ 13.3	(△ 9.1)	1.08	△ 0.13
建設業	229,571	41.0	(19.8)	0.86	0.18
製造業	132,815	△ 36.6	(△ 36.0)	0.69	△ 0.55
卸売業、小売業	191,245	△ 37.8	(31.1)	1.07	△ 0.53
宿泊業、飲食サービス業	19,123	△ 57.4	(48.6)	0.19	△ 0.18
生活関連サービス業、娯楽業	57,604	85.6	(△ 37.7)	0.43	0.20

※()内は前々年比

注：1) 年間に特別に支払われた現金給与額は、勤続1年以上の常用労働者について平成28年8月1日から平成29年7月31日までの1年間に支給された額を集計したもので、賞与のほか、ベースアップの差額支給分等を含む。

2) ()内は、平成28年の前年比の数値である。

図2 産業別、性別、年間特別に支払われた現金給与額



2 出勤日数と労働時間の動き

(1) 出勤日数

7月における出勤日数は、調査産業計で前年差1.0日減の20.1日となった。これを男女別にみると、男性は0.8日減の21.1日、女性は1.0日減の19.5日となった。(表3、図3)

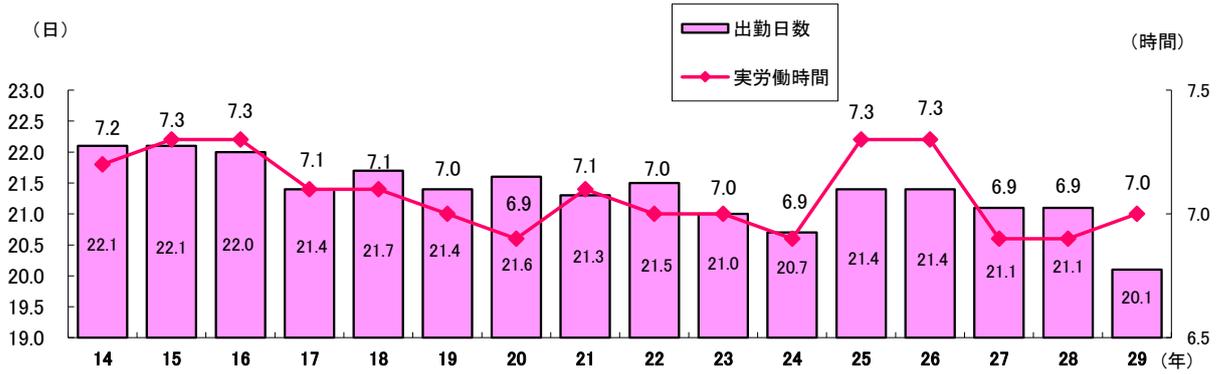
(2) 実労働時間

7月における通常日1日の実労働時間数は、調査産業計で前年差0.1時間増の7.0時間となった。これを男女別にみると、男性は0.2時間増の7.9時間、女性は0.1時間増の6.4時間でとなった。(表3、図3)

表3 産業、性別出勤日数及び通常日1日の実労働時間

産業、男女別	出勤日数		実労働時間	
	日	前年差	時間	前年差
調査産業計	20.1	(△ 1.0)	7.0	(0.1)
男	21.1	(△ 0.8)	7.9	(0.2)
女	19.5	(△ 1.0)	6.4	(0.1)
建設業	22.1	(△ 0.4)	7.7	(0.2)
製造業	21.1	(1.3)	6.8	(0.2)
卸売業、小売業	20.7	(△ 0.8)	7.2	(0.1)
宿泊業、飲食サービス業	17.7	(△ 2.7)	5.5	(△ 0.7)
生活関連サービス業、娯楽業	18.7	(△ 2.2)	6.7	(0.4)

図3 出勤日数及び通常日1日の実労働時間



3 雇用の動き

(1) 常用労働者数

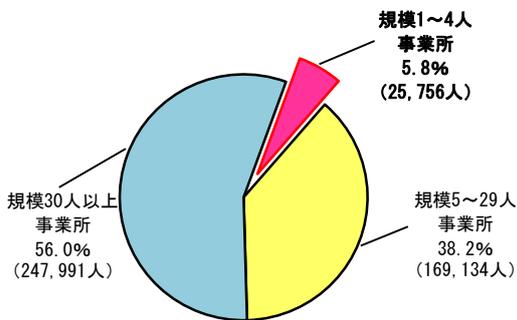
7月末の常用労働者数は、調査産業計で前年比19.4%増の25,756人となった。これを男女別にみると、男性は10.7%増の10,244人、女性は26.0%増の15,512人となった。

女性常用労働者の割合は3.1%増の60.2%となった。(表4、図4、図5)

表4 産業、性別常用労働者

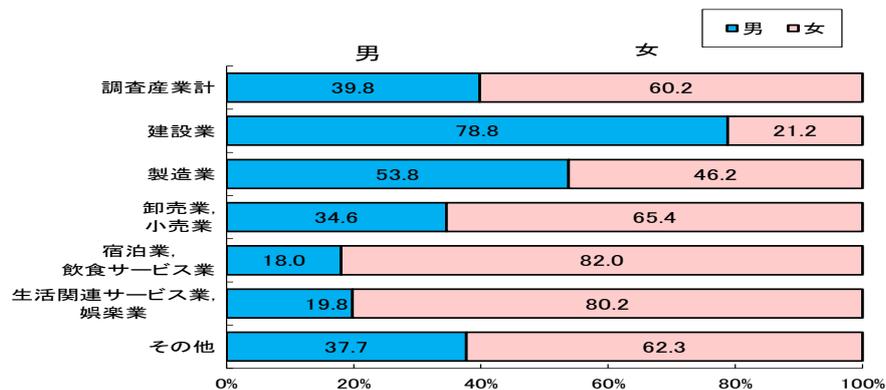
産業・男女別	規模1~4人事業所 (人)	
	対前年比	
調査産業計	25,756	19.4
男	10,244	10.7
女	15,512	26.0
建設業	3,559	△ 5.9
男	2,804	△ 3.7
女	755	△ 13.2
製造業	1,777	12.7
男	956	19.8
女	821	5.3
卸売業, 小売業	7,509	39.7
男	2,600	10.8
女	4,910	62.1
宿泊業, 飲食サービス業	2,455	42.2
男	441	44.6
女	2,014	41.6
生活関連サービス業, 娯楽業	2,773	89.0
男	548	828.8
女	2,225	58.0

図4 規模別常用労働者数とその割合



(注)規模5人以上の常用労働者数は、毎月勤労統計調査地方調査(平成29年7月)による。

図5 産業別常用労働者男女割合

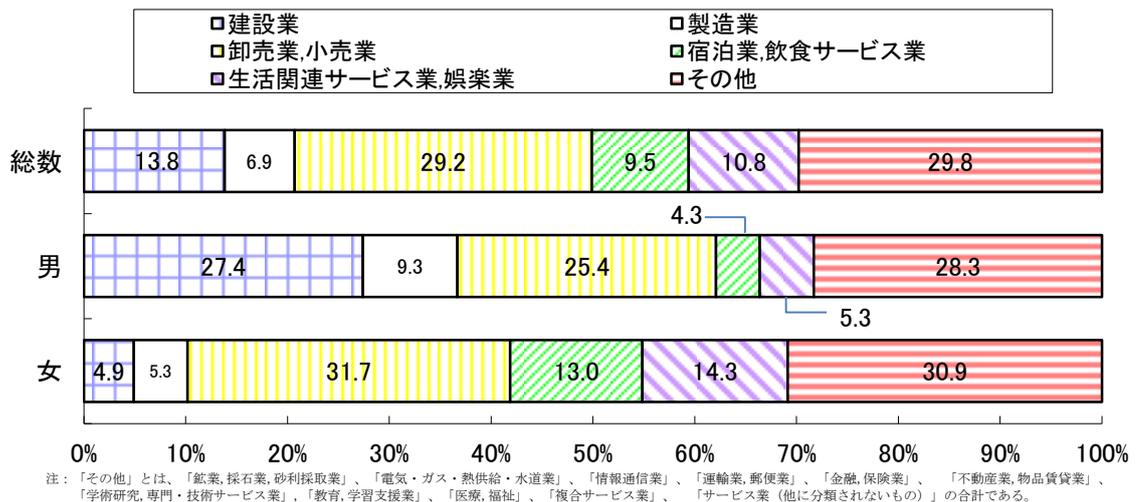


(2) 常用労働者構成比

常用労働者の産業別構成比をみると、「卸売業、小売業」が29.2%と最も多く、次いで「建設業」の13.8%、「生活関連サービス業、娯楽業」が10.8%、「宿泊業、飲食サービス業」が9.5%、「製造業」が6.9%の順となった。

男性常用労働者では、「建設業」が27.4%と最も多く、次いで「卸売業、小売業」が25.4%、女性常用労働者では、「卸売業、小売業」が最も多く31.7%で、次いで「生活関連サービス業、娯楽業」が14.3%となった。(図6)

図6 産業、男女別常用労働者の分布



4 全国との比較

(1) きまって支給する給与

きまって支給する給与は、全国は196,363円であったのに対し、富山県は185,807円で全国を10,556円下回った。(表5)

(2) 特別に支払われた給与

年間の特別に支払われた現金給与額は、全国は227,457円であったのに対し、富山県は211,461円で全国を15,996円下回り、年間特別給与支給割合でも全国1.16ヶ月に対し、富山県1.14ヶ月で全国を0.02ヶ月下回った。(表5)

(3) 出勤日数

月間出勤日数は、全国は20.1日、富山県は20.1日で、全国と同水準であった。(表5)

(4) 実労働時間数

通常日の実労働時間数は、全国は7.0時間、富山県は7.0時間で全国と同水準であった。(表5)

表5 全国比較 (調査産業計)

	富山県 (A)	全国 (B)	比較 (A-B)
きまって支給する現金給与額	185,807円	196,363円	△ 10,556円
年間特別に支払われた現金給与額	211,461円	227,457円	△ 15,996円
支給割合	1.14ヶ月	1.16ヶ月	△ 0.02ヶ月
出勤日数	20.1日	20.1日	0.0日
通常日の実労働時間数	7.0時間	7.0時間	0.0時間
常用労働者数	25,756人	1,869,459人	—